

コミュニケーション力の向上を目指して



ALTと日本人教員が写真を使ってチームティーチング

国際化が進む中、さまざまな場面で英語が使われるようになってきています。市では、子どもたちの英語でのコミュニケーション力を高めるため、全ての市立学校に外国人英語講師（ALT）を配置し、小学1年生から英語教育を行っています。

英語と異文化に親しむ チームティーチング

2人以上の教員が協力して授業を行うことを「チームティーチング」と呼び、市では、ALTと日本人教員がチームティーチングで英語教育を行っています。子どもたちが小学校低学年からALTと気軽に接することで、外国人に対し物おじしない態度を育めるように取り組んでいます。

また、普段の生活に近い場面を設定して、ALTと日本人教員が手本を見せることで、実践的な英語力を身に付けることも目指しています。

チームティーチングを行う中で、児童・生徒はALTの話す英語を直接聞くことができます。それにより、英語の自然な発音や特

有のリズム、多様な言語表現に慣れ親しむことができます。さらに、ALTの母国をはじめとした外国の文化に触れる機会を多く持つことで、多文化共生・異文化理解の意識が育まれます。

成田の英語教育が目指す姿

このような英語教育を通して、相手を思いやり、尊重する態度の育成も目指しています。

今後も児童・生徒の「間違いを恐れず、英語で自分の思いや考えを積極的に伝え合う態度」を育んでいきます。

そして、国際都市成田の未来を担うことのできる人材の育成を目指し、英語教育の歩みを進めていきます。

※くわしくは教育指導課（☎1582）へ。

活躍中のALTにインタビュー

「日頃どのようなことを大切にしてチームティーチングを行っていますか」



トラヴィス
Travisさん
(西中学校)

授業をする時は、より自然な会話の状況や雰囲気を設定するよう環境づくりを大事にしています。また、生徒が「自分もやってみたい」と思えるような日本人教員との掛け合いの「rhythm」を大切にしています。



ラケール
Raquelさん
(向台小学校)

アンダースタンディング
チームティーチングは「understanding（相互理解）」です。日本人教員と子どもの理解度を共有し、アイデアを出し合っています。それらを擦り合わせ、子どもたちに合った活動やゲームを実施するようにしています。